

2020年度 施策マネジメントシート (2019年度目標達成度評価)

政策体系	政策No.	005	きょうどう (市民とつくる協働と連携のまちづくり)	施策幹事課	市民活動推進課				
	施策No.	001	市民参画でつながる地域社会の形成	施策幹事課長名	池田 宏幸				
施策関係課名		観光PR課、社会教育課							
1 基本計画期間 (2018年度~2022年度)における施策の方針									
<p>立場の異なる様々な主体が、適切な役割分担のもとに連携し、相乗効果を高めながら、地域への愛着を深めることで、暮らしやすく、魅力ある地域社会の形成を目指します。</p> <p>また、霧島市国際交流協会や関係団体等と連携・協働しながら、多くの市民の参加により、姉妹都市をはじめとする、国内外の都市との多彩な交流を深めるとともに、国際感覚を身につけ、世界で活躍できる人材の育成に積極的に取り組みます。</p>									
2 施策の成果把握									
		◎目標達成 (100%以上) △目標を未達成 (100%未満)							
①成果指標 (意図の達成度を示す指標)		単位	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	目標達成の方向性
A	まちづくり活動に参加している市民の割合	%	成り行き値	53.0	53.0	53.0	53.0	53.0	更なる増加を目指します
			目標値	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	
			実績値						
			達成率						
			結果						
B	まちづくりや地域活動を行っている市民団体数	団体	成り行き値	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	更なる増加を目指します
			目標値	1,510.0	1,515.0	1,520.0	1,525.0	1,530.0	
			実績値	1,281.0	1,273.0				
			達成率	84.8%	84.0%				
			結果	△	△				
C	まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数	団体	成り行き値	600.0	600.0	600.0	600.0	600.0	更なる増加を目指します
			目標値	610.0	615.0	620.0	625.0	630.0	
			実績値	408.0	419.0				
			達成率	66.8%	68.1%				
			結果	△	△				
D	国内外の姉妹都市等との交流事業等に参加したのべ人数	人	成り行き値	160.0	160.0	160.0	160.0	160.0	更なる増加を目指します
			目標値	166.0	169.0	172.0	175.0	178.0	
			実績値	220.0	256.0				
			達成率	132.5%	151.4%				
			結果	◎	◎				
E	自治会加入率	%	成り行き値	62.0	61.0	60.0	59.0	58.0	更なる増加を目指します
			目標値	62.0	64.0	66.0	68.0	70.0	
			実績値	60.2	58.0				
			達成率	97.0%	90.6%				
			結果	△	△				
②成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)				③2022年度の目標値設定の考え方					
<p>A まちづくり活動に参加している市民の割合 ※市民意識調査</p> <p>B まちづくりや地域活動を行っている市民団体数 ※地区自治公民館、自治会、NPO法人、防犯パトロール隊、社会福祉協議会ボランティアセンター登録団体、きりしま地域人材バンク登録団体の年度末時点の数</p> <p>C まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数 ※地区活性化事業、まちづくり支援事業、市民活動支援事業を活用</p> <p>D 国内外の姉妹都市等との交流事業等に参加したのべ人数 ※本市から派遣された人数、ホームステイを受け入れた人数</p> <p>E 自治会加入率 ※自治会管理システムによるデータ (4月1日現在)</p>				A		2018年度の目標値を55%と設定し、毎年、1%ずつの向上を目指す。			
				B		2018年度の目標値を1,510団体と設定し、毎年、公民館や自治会などを含み、5団体ずつの増加を目指す。			
				C		特に自治会への周知を年度当初の説明会でしっかりと行うことで、2018年度の目標値を610団体と設定し、毎年5団体ずつの増加を目指す。			
				D		2018年度の目標値を166人と設定し、毎年、3人ずつの増加を目指す。			
				E		2018年度の目標値を62%と設定し、毎年2%ずつの増加を目指す。			
				F					

<p>3 基本計画期間で解決すべき施策の課題（総合計画より）</p> <p>市民にとって最も身近な住民組織である地区自治公民館・自治会は、防災・防犯、子育て、高齢者の見守り、環境美化等、市民が生活する上で様々な問題を解決する役割を担っていますが、人口減少やライフスタイルの多様化、地域における連帯感の希薄化などにより、単独の自治会等による地域課題の解決が困難な状況が見受けられます。</p> <p>また、地域では、リーダーの高齢化や自治会役員への負担の集中等の課題があるほか、全市的に自治会加入率は減少傾向にあることから、地域活動を担うリーダーや新しい公共の担い手となるNPO等の団体が育つ環境を整備していく必要があります。</p> <p>さらに、「道義高揚・豊かな心推進宣言都市」として道徳の振興を図るため、関連事業の普及・啓発をさらに推進していく必要があります。</p> <p>近年、国や地域を越え、人・モノ・情報等の移動が世界的に拡大していることから、国内外の様々な都市との交流を通じ、異文化に対する正しい認識や魅力などを広く伝えるとともに、霧島市国際交流協会等との連携を強化し、市民レベルでの交流の拡大やグローバル人材の育成を進めていく必要があります。</p>	
<p>4 施策の現状</p>	
<p>① 2019年度施策の取組方針</p> <p>■引き続き、地域活動、市民運動を推進するとともに、国内外の姉妹都市、交流都市等との交流を活性化し、市民参加のまちづくりを進める。</p>	<p>② 2019年度の取組方針の達成状況</p> <p>■地区自治公民館や市民活動団体等に対して、各種支援事業や補助事業等を実施し、市民自らが行う地域活動が促進された。</p> <p>■国内の姉妹都市及び交流都市との交流については、訪問団の派遣及びイベントでの相互交流により、交流の活性化を図り、市民参加のまちづくりを進めた。</p> <p>■交流都市である中国上海市嘉定区を訪問した。また、霧島市国際交流協会及び日韓親善子供大使友好の翼実行委員会に補助を行い、実施した青少年海外派遣事業により、交流が活性化し、市民参加のまちづくりを進めた。</p>
<p>5. 2020年度施策の取組方針</p> <p>■新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しながら、地域活動、市民運動を推進するとともに、国内外の姉妹都市、交流都市等との交流を活性化し、市民参加のまちづくりを進める。</p>	<p>6. 2021年度施策の取組方針</p> <p>■引き続き、地域活動、市民運動を推進するとともに、国内外の姉妹都市、交流都市等との交流を活性化し、市民参加のまちづくりを進める。</p>

政策体系	政策No.	005	基本事業名	市民活動の支援と協働の推進	基本事業 主担当課	市民活動推進課
	施策No.	001				
	基本事業No.	001				

1 基本事業の目的、取組方針（総合計画より）

「道義高揚・豊かな心推進大会」、「新春市民のつどい」など道義高揚に関するイベント内容の充実や市民総参加による「ふれあいボランティア」等の推進により、地域社会を形成する市民意識の醸成を図ります。
また、地区自治公民館・自治会が実施する地域活動及び市民団体（ボランティア団体、NPO等）が実施する公益的な活動に対する支援を行うとともに、連携・協働体制の強化を図り、市民参画によるまちづくりを推進します。

2 基本事業を取り巻く状況（対象や根拠法令等）はどのように変化しているか、さらに今後どう変化するか？

■本市は「道義高揚・豊かな心推進宣言」を制定し、様々な社会問題に積極的に市民の参加を促すため、霧島市道義高揚・豊かな心推進協議会を設けた。この協議会では、家庭教育の充実、礼儀作法の励行、青少年の健全育成や報恩感謝の気風醸成等に関する様々な事業を市民運動として積極的に推進している。
■地域を取り巻く環境は、市街地では都市化が進行し、中山間地域では少子高齢化による人口減少する、いわゆる二極化しており、今後は、ますます拍車がかかるものと思われる。

3. 2019年度基本事業の取組方針

■市民一人ひとりが自覚を持ち、様々な社会活動への参加を醸成するため、花いっぱい運動、あいさつ運動、マナーアップ運動などを市民運動として積極的に推進する。
■地区自治公民館・自治会の運営や施設の維持管理に対し、地域の特性に応じてソフト・ハードの両面から各種支援を行うとともに、市民グループが行う公益的な事業についても、経費の一部の補助を行い、市民活動の促進を図る。

4. 2019年度取組達成状況

■花いっぱい運動は、暮らしの中で花を育て、愛し、親しむことにより、優しい心を培いながら、美しい郷土「花いっぱいの霧島市」をつくるため、市内全域に広げることとし、地区自治公民館、老人クラブ、子ども会、企業等市内の246団体の協力により、緑豊かな環境の整備を図った。
■あいさつ運動は、校区青少年健全育成連絡会や地区自治公民館を中心に展開されており、これらの推進を図るため、あいさつ運動推進校区17校区を指定し、声かけ運動や防犯パトロール隊との連携を図った。
■マナーアップ運動は、市民総参加による清掃活動を推進するため、ふれあいボランティア霧島の日を設け、65地区自治公民館に協力により、市内のボランティア活動の推進を図った。
■「道義高揚・豊かな心推進大会」は、健康福祉まつり、市民表彰と合同開催し、花いっぱいコンクール表彰や善行表彰などを行い、約700人の参加があった。
■公民館運営支援事業89件、市民活動団体支援事業11件、地区活性化支援事業691件、地域振興補助事業250件、地域まちづくり支援事業36件の補助事業を実施し、市民自らが行う地域活動の促進を行った。

5. 2020年度基本事業の取組方針

■引き続き、市民一人ひとりが自覚を持ち、様々な社会活動への参加を醸成するため、花いっぱい運動、あいさつ運動、マナーアップ運動などを市民運動として積極的に推進する。
■地区自治公民館や自治会に対して、自治活動に対する適切なアドバイスをを行い、支援体制を充実する。
■新型コロナウイルス感染症の拡大防止について、地区自治公民館や自治会長との連携を図りながら、地域住民に対する情報提供のほか、各種活動の開催中止や延期、公民館の臨時休館等の対策を実施する。

6. 2021年度基本事業の取組方針

■引き続き、市民一人ひとりが自覚を持ち、様々な社会活動への参加を醸成するため、花いっぱい運動、あいさつ運動、マナーアップ運動などを市民運動として積極的に推進する。
■引き続き、地区自治公民館や自治会に対して、自治活動に対する適切なアドバイスをを行い、支援体制を充実する。

政策体系	政策No.	005	基本事業名	国際・国内交流の推進	基本事業 主担当課	市民活動推進課
	施策No.	001				
	基本事業No.	002				
1 基本事業の目的、取組方針（総合計画より）						
<p>霧島市国際交流協会などと連携し、友好交流都市をはじめとするアジア諸国など多くの都市との交流を展開することにより、市民が海外の文化に触れ、理解を深める機会を増やすとともに、青少年海外派遣事業等の実施により、国際的な視野を持つグローバル人材の育成を図ります。また、中・高校生をはじめとする市民レベルによる岐阜県海津市などの姉妹都市との交流を通じて、地域間相互の理解を深めるとともに、健全な青少年の育成に努めます。</p>						
2 基本事業を取り巻く状況（対象や根拠法令等）はどのように変化しているか、さらに今後どう変化するか？						
<p>■岐阜県海津市との姉妹都市交流事業は、令和2年に旧国分市と旧海津町が姉妹都市盟約を締結してから50周年を迎えることから、引き続き、宝暦木曾三川治水工事を完成させた薩摩義士の尊い偉業と崇高な精神に対する海津市民の「報恩感謝」の気風を学び、後世に引き継ぐため、姉妹都市交流の一層の促進を図る。 ■平成18年度に長崎県雲仙市との観光姉妹都市盟約を結び直し、平成28年度に継続確認書を交わし、これまでも観光姉妹都市連絡協議会総会や産業まつりに出席するなどの交流を行っている。 ■訪日外国人旅行者数、在留外国人、就労外国人は、過去最多を更新し、国においては新たな在留資格を創設、平成31年4月に施行された。 ■国際化の進展にともない、本市で暮らす外国人は年々増加している。 ■鹿児島空港から国際線として、ソウル、上海、台北、香港の4路線が定期的に運行されている。また、令和2年1月、ベトジェットエアにより、鹿児島とベトナムとを結ぶ初の直行路線である「鹿児島-ハノイ路線」の開設について報道発表があった。（時期は未定）</p>						
3. 2019年度基本事業の取組方針			4. 2019年度取組達成状況			
<p>■国際・国内交流活動の周知のため、引き続き、FMきりしまをはじめ報道機関を活用して、広く市民に情報発信を行う。 ■姉妹都市・交流都市等との関係の強化、市民レベルでの交流活動の活性化を図るため、広く情報発信し、さらに多くの市民が参加できるよう周知を行う。 ■海外の姉妹都市・友好交流都市等を公式訪問し、相互理解を深める。 ■青少年海外派遣事業については、霧島市国際交流協会や日韓親善子供大使友好の翼実行委員会と連携し、次代を担う青少年の国際的視野を広げるとともに国際理解を深め、青少年による国際交流を推進する。</p>			<p>■海津市との姉妹都市交流事業は、市民に事業の主旨や意図をFMきりしまをはじめ、報道機関で周知したこと等によって、春季・秋季交流事業及び青少年交流事業の参加者がほぼ定員に達し、春季・秋季交流に19人、青少年交流に16人を派遣した。 また、交流開始から令和2年度で50周年を迎えることから、交流のあゆみについてまとめた記念誌を両市の共同事業として、500部作成した。 ■雲仙市との交流は、旧小浜町、霧島町、牧園町の観光姉妹町盟約から50周年を迎えることから、記念式典及び祝賀会を開催したほか、記念誌を100部作成した。また、霧島ふるさとまつりや雲仙市産業まつりを通じて、特産品の販売や両市のPRなどの相互交流を行った。 ■交流開始から15年目を迎えた交流都市である中国上海市嘉定区については、市長、議長が公式訪問を行い、これまでの長年にわたる交流に対し敬意と感謝を伝えるとともに、今後の更なる相互交流の発展などについて確認を行った。 ■青少年海外派遣事業は、霧島市国際交流協会及び日韓親善子供大使友好の翼実行委員会に補助金を交付し、マレーシア、中国、アメリカ、カンボジア、韓国の合計5か国へ、43人を派遣したほか、マレーシア及び韓国から24人の受入れを行った。</p>			
5. 2020年度基本事業の取組方針			6. 2021年度基本事業の取組方針			
<p>■国内外の交流や訪問については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、すでに態度決定をしている件もあるが、引き続き状況を注視し、対応していく。 ■岐阜県海津市との姉妹都市交流は、令和2年度で交流開始から50周年を迎えることから、市民参加型の事業としてアニバーサリー号就航事業や、記念交流事業などを実施することとし、さらなる相互理解を深める。 ■長崎県雲仙市との交流は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しながら、引き続き産業まつり等のイベントに参加し、観光姉妹都市として関係の強化を図る。さらに、新たな取組として、福岡市において両市合同でPRブースの出展を実施し、両市の観光や特産品のPRを積極的に行う。 ■青少年海外派遣事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため相互派遣の中止は決定しているが、日韓親善子供大使友好の翼については、実行委員会と連携し、交流のきっかけとなった図画作品の交換は実施する。 ■改正入管法の施行により在留外国人の増加や外国人労働者の受け入れ拡大が予想されること、また、毎年、外国人住民登録者が増えていることから、ハローワーク国分や市国際交流協会などと連携してアンケートを実施し、実態調査を行う。 ■近年増加している外国人居住者に対し、新型コロナウイルス感染症等の緊急情報をはじめ、きめ細かな情報提供の必要性がますます高まっていることを踏まえ、感染症等の情報や各種相談窓口、その他生活に関する情報を集約した多言語のガイドブックを作成し、希望する居住者や今後の転入者等へ配布し、引き続き、外国人居住者の生活支援に努めるとともに、多文化共生の推進を図る。</p>			<p>■国内外の交流活動の周知について、これまで同様、FMきりしまをはじめ報道機関を活用して、広く市民に情報発信を行い、多くの市民が参加できるよう周知し、交流を推進する。 ■国内外の姉妹都市・友好交流都市等の公式訪問を行い、相互理解を深め、姉妹都市・交流都市等との関係の強化を図る。 ■青少年海外派遣事業については、霧島市国際交流協会や日韓親善子供大使友好の翼実行委員会と連携し、次代を担う青少年の国際的視野を広げるとともに国際理解を深め、青少年による国際交流を推進する。 ■市内の在留外国人や外国人労働者の現状やニーズに対して、霧島市国際交流協会などと連携し、アンケート結果をもとに対策を講じる。</p>			